

次期瀬戸市将来計画 基本構想（たたき台） ～2040年を見据えたこれからのまちづくり～

2040年を見据えて
(まちづくりを考える上での前提)

2040年に想定される社会

《直面する課題》

- 人口減少に伴い、様々な社会課題が顕在化する
 - ・人口の約38.5%が65歳以上の高齢者となり、社会保障がひっ迫
 - ・働く場が減り、地域経済が縮小
 - ・公共インフラが老朽化し、施設の維持・最適化が課題に
 - ・地域コミュニティが希薄化し、地域の担い手不足が進む
 - ・限られた行政リソースで多様な課題に対応
 - ・コンパクトシティへの転換、立地適正化の検討も視野に

《到来するチャンス》

- 多様な人材の活躍機会の増加
- IT技術・移動方法の発展、DX推進
- 1人あたりの資源量の増加
- リニア開通による経済圏の拡大
- あらゆる分野での「地産地消」の浸透

など

瀬戸の地域資源・ポテンシャル

- 暮らしに溶け込むやきもの文化
- 挑戦・改革によって築いてきた1000年の歴史
- 豊かな自然と利便性の両立
- 外から来た人が活躍できる土壌
- 様々な分野で活躍する人たち
- 多様な学び・育ちの場

など

将来像（目指すまちの姿）

《基本姿勢》

- 直面する課題を悲観せずに正面から受け止め、到来するチャンスや瀬戸の地域資源・ポテンシャルを力にして**楽しく乗り越える**
- 審議会での議論や様々な手法で把握した市民意見を踏まえて、「瀬戸らしさ」を再整理

《キーワード》

化学変化

…多様なもの（人、価値観、資源など）が**混ざり合い**、課題を**解決し**、**未来に向けた新たな価値を創出**すること

《瀬戸市と「化学変化」》

- 焼成により土が別の物質（陶磁器）に変わる、釉薬の調合など、やきものづくり自体がそもそも「化学変化」である
- 挑戦・改革（化学変化）によって、時代に即した新たな価値を生み出し、やきもの文化・歴史を築いてきた背景がある

【起業家精神（アントレプレナーシップ）・チャレンジ精神】

- 外から来た人による市民との交流や地域資源を生かした取組から、新たな賑わいや価値が生まれている

【瀬戸らしいダイバーシティ、関係人口・共創】

《将来像イメージ》

- 化学変化によって市民の意識が変わり（愛着・誇りが醸成され）、意識の変化が新たな化学変化を生み、化学変化の連続がまちの持続性をつくる【シビックプライド、誇りと愛着】
 - ・化学変化が起き続ける／常に化学変化を起こす
 - ・化学変化により課題をチャンスに変える
 - ・ // 新たな価値を創り出す／デザインする
 - ・ // 0から1を生み出す
 - ・一人ひとりの“こうありたい”が形にできる
 - ・自分らしさが叶う
 - ・いくつになっても夢が更新できる

など

将来像の実現に必要な要素
(まちづくりで大切にしたいこと)

釉薬 瀬戸らしいダイバーシティを実現する

- 高齢者や外国人、障害のある人はもとより、やきもの作家やアーティスト、起業家など、多様な人たちや価値観が共存する状態
- 多様な価値観が混ざり合い、未来に向けた新たな変化（価値の創出）を促す
- 訪れた人たちと共にまちづくりに取り組む

火 挑戦が育つ学びをつくる

- 起業家精神（アントレプレナーシップ）やチャレンジ精神を育む学びをすすめる
- …子どもの頃から土に触れることで、五感や脳、指先の巧緻性の発達、情緒の安定に寄与する
- 多様な学び／学び直しの場合・機会をつくる
- 挑戦を促す文化・風土を育み、挑戦を「瀬戸での当たり前」にしていく

土 行動を生み出す環境をつなぐ

- 変化につながる資源／変化を促す環境を、最大限に生かす
 - ・1000年続くやきもの文化・歴史
 - ・やきものづくりを支えてきた豊かな自然・資源
 - ・都市圏への交通アクセスの良さ、高い利便性…
- 空き地・空き家など、課題に伴う新たな可能性を見出す

技術 変化を促すテクノロジーと融合する

- デジタル技術を徹底的に活用する
- スタートアップをはじめ民間企業との官民・民民連携を推進し、新たな芽吹きを促す
- 伝統と革新を融合し、新たな価値を生み出す
- データに基づくまちづくり（EBPM）を進める

基本構想審議会及び検討会議でのキーワード
市民等の意見

- 高齢者、外国人、LGBTQ…各々の違いを受入れ、これを力にしながら成長する
- 多様な人が支え合う風土が当たり前
- 「故郷に錦を飾る」意欲のある人は一定数いる
- 訪れた人が、どれだけ地域の人と関わり、価値創造や生産活動をしていくかを目指していく

- 起業家をはじめ、棋士や俳優、スポーツチームなど、様々な分野で活躍する人・出身者がいる
- 小中一貫校や私立小中学校など、教育の場の多様な選択肢がある
- 外から来た人を受け入れる土壌がある
- 住んでいる人や外から来た人が、好きなようにチャレンジできるまちになってほしい

- せとものが日々の暮らしの中に溶け込む
- シビックプライドが醸成される背景・文脈がある
- 東京圏・名古屋（STATION Ai）からの立地・アクセスの良さ
- 人口減少を「限られた資源が余裕を持って使える」と前向きに捉えた議論もできると良い

- 行政の人材・予算などが減少する中、多様化する住民ニーズに対応していくことは困難
- 地域課題解消に向けたDXに取り組むには、目的意識を持った事業の実施が必要
- 官民連携は成果が出るまでの事業継続が難しく、上手に回すための仕組みづくりが重要